

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題  
(令和8年5月21日)

申請者名 (法人名)

受験者の氏名

(注意事項)

※問題文末尾の括弧は、関係する法令等を指します。また、設問の文中には、法令の条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。

I. 次の問題1から20の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を( )  
内に記入しなさい。

問題1 (事業計画)

一般貨物自動車運送事業者が業務を行う場合には、事業計画に定めるところに従わなければならない。国土交通大臣は、この規定に違反していると認められるときは、当該事業者に対し、事業計画に従い業務を行うべきことを命ずることができる。(貨物自動車運送事業法)

( )

問題2 (運行管理者)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、国土交通省令で定めるところにより、国土交通大臣が認定する講習を修了した者のうちから、運行管理者を選任しなければならない。(貨物自動車運送事業法)

( )

問題3 (運送約款の記載事項)

運送約款には必ず記載しなければならない事項がありますが、次のア～オのうち、当てはまらないものを1つ選び( )内に記号で記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則)

- ア. 経営状況に関する事項
- イ. 運賃及び料金の収受又は払戻しに関する事項
- ウ. 運送の引受けに関する事項
- エ. 積込み及び取卸しに関する事項
- オ. 損害賠償その他責任に関する事項

( )

#### 問題 4 (運行記録計による記録)

一般貨物自動車運送事業者は、全ての事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該事業用自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を1年間保存しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

( )

#### 問題 5 (輸送の安全性の向上)

一般貨物自動車運送事業者は、利益の確保が最も重要であることを自覚し、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。(貨物自動車運送事業法)

( )

#### 問題 6 (事故の報告)

一般貨物自動車運送事業者は、その事業用自動車が事故を起こしたときは、たとえ軽微な事故であっても遅滞なく国土交通大臣に届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法)

( )

#### 問題 7 (運行管理者の業務)

運行管理者は、運転者に対して、点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

( )

問題 8 (有償運送)

自家用自動車は、無償で運送の用に供してはならない。ただし、災害のため緊急を要するとき、又は公共の福祉を確保するためやむを得ない場合であって国土交通大臣の許可を受けて地域又は期間を限定して運送の用に供するときは、この限りでない。(道路運送法)

( )

問題 9 (名義の利用等の禁止)

一般貨物自動車運送事業者は、事業の貸渡しその他いかなる方法をもってするかを問わず一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を他人にその名において経営させてはならない。(貨物自動車運送事業法)

( )

問題 10 (運行管理者の指導及び監督)

運行管理者は、業務の適確な処理及び運行管理規程の遵守について、一般貨物自動車運送事業者に対する適切な指導及び監督を行わなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

( )

問題 11 (定義)

貨物自動車運送事業法において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送事業を営業者が他の貨物軽自動車運送事業を営業者の行う運送を利用してする貨物の運送をいう。(貨物自動車運送事業法)

( )

問題 12 (輸送の安全)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が休憩又は睡眠のために利用することができる施設を整備及び管理しなければならない。(貨物自動車運送事業法)

( )

問題 1 3 (運賃及び料金の届出)

一般貨物自動車運送事業者は、運賃及び料金を定め、又は変更しようとするときは、国土交通大臣の認可を受けなければならない。(貨物自動車運送事業報告規則)

( )

問題 1 4 (運送約款)

一般貨物自動車運送事業者は運送約款を定め、認可を受けなければならない。但し、一般貨物自動車運送事業者が、国土交通大臣が定めて公示した標準運送約款と同一の運送約款を定め、又は現に定めている運送約款を標準運送約款と同一のものに変更したときは、認可を受けたものとみなす。(貨物自動車運送事業法)

( )

問題 1 5 (自動車検査証の有効期間)

車両総重量 8 トンを超える貨物事業用自動車の自動車検査証の有効期間は 2 年である。(道路運送車両法)

( )

問題 1 6 (労働条件の明示)

使用者は、労働契約の締結に際し、労働者に対して賃金、労働時間その他の労働条件を明示しなければならない。この場合において、賃金及び労働時間に関する事項その他の厚生労働省令で定める事項については、厚生労働省令で定める方法により明示しなければならない。(労働基準法)

( )

問題 1 7 (運行管理者等の義務)

一般貨物自動車運送事業者は、運行管理者がその業務として行う助言を尊重しなければならない。事業用自動車の運転者その他の従業員は、運行管理者がその業務として行う指導に従わなければならない。(貨物自動車運送事業法)

( )

問題 18 (届出)

次の届出のうち誤っているものはどれか。(貨物自動車運送事業法施行規則、貨物自動車運送事業報告規則)

ア. 一般貨物自動車運送事業者たる法人であって、役員を変更しようとするときは、あらかじめ国土交通大臣等に届出なければならない。

イ. 一般貨物自動車運送事業者は、運賃及び料金の設定をしたときは、設定後30日以内に国土交通大臣等に届出なければならない。

ウ. 貨物自動車運送事業の運輸を開始した場合は、国土交通大臣等に届出なければならない。

( )

問題 19 (私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

「自己の取引上の地位が相手方に優越していることを利用して、正常な商慣習に照らして不当に、取引の相手方からの取引に係る商品の受領を拒み、取引の相手方から取引に係る商品を受領した後当該商品を当該取引の相手方に引き取らせ、取引の相手方に対して取引の対価の支払を遅らせ、若しくはその額を減じ、その他取引の相手方に不利益となるように取引の条件を設定し、若しくは変更し、又は取引を実施すること。」は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律における「不公正な取引方法」にあたる。(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

( )

問題 20 (事業改善の命令)

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業の適正かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときは、事業者に対し、貨物の運送に関し生じた損害を賠償するために必要な金額を担保することができる保険契約を締結することを命ずることができる。(貨物自動車運送事業法)

( )

## II. 次の問題 2 1 から 2 4 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

### 問題 2 1 (運賃及び料金等の掲示)

次の中で、一般貨物自動車運送事業者が主たる事務所その他の営業所において、公衆に見やすいように掲示しなければならないと法で定められているものを一つ選び記入しなさい。(貨物自動車運送事業法)

- ア. 貨物自動車運送事業経営許可書
- イ. 運行管理者資格者証
- ウ. 運送約款

( )

### 問題 2 2 (従業員に対する指導及び監督)

一般貨物自動車運送事業者は、運転者ごとに、国土交通大臣が告示で定めるところにより、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣が告示で定める適性診断であって、国土交通大臣の認定を受けたものを受けさせなければならないことになっているが、対象となる運転者として正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

- ア. 死者又は負傷者が生じた事故を引き起こした者
- イ. 事務員として新たに雇い入れた者
- ウ. 60才以上の高齢者

ア ( ) イ ( ) ウ ( )

### 問題 2 3 (過労運転の防止)

一般貨物自動車運送事業者は二月を超える期間を定めて使用する者を事業用自動車の運転者として選任してはならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則)

( )

### 問題 2 4 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、労働省告示(平成元年2月9日労働省告示第7号)によって定められています。( )内に入る正しいものを①～⑥から選び記入しなさい。(自動車運転

者の労働時間等の改善のための基準)

- ア. 運転時間は、2日を平均し1日当たり9時間、2週間を平均し1週間当たり（ ）を超えないものとする。
- イ. 連続運転時間は、（ ）を超えないものとする。
- ウ. 拘束時間は、1箇月について（ ）を超えないものとする。
- エ. 1日についての拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は（ ）とする。
- オ. 勤務終了後、継続（ ）以上の休息期間を与えるよう努めること。

① 284時間   ② 48時間   ③ 11時間   ④ 44時間   ⑤ 4時間   ⑥ 15時間

一般貨物自動車運送事業の経営許可申請等に係る法令試験問題 (解答)  
(令和8年5月21日)

申請者名 (法人名)

受験者の氏名

(注意事項)

※問題文末尾の括弧は、関係する法令等を指します。また、設問の文中には、法令の条文をそのまま引用せずに、一部省略している場合があります。

I. 次の問題1から20の文章で正しいものに○を、誤っているものに×を( )内に記入しなさい。

問題1 (事業計画)

一般貨物自動車運送事業者が業務を行う場合には、事業計画に定めるところに従わなければならない。国土交通大臣は、この規定に違反していると認められるときは、当該事業者に対し、事業計画に従い業務を行うべきことを命ずることができる。(貨物自動車運送事業法第8条第1項、第2項)

( ○ )

問題2 (運行管理者)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、国土交通省令で定めるところにより、国土交通大臣が認定する講習を修了した者のうちから、運行管理者を選任しなければならない。(貨物自動車運送事業法第16条第1項)

(正) 運行管理者資格者証の交付を受けている者のうちから

( × )

問題3 (運送約款の記載事項)

運送約款には必ず記載しなければならない事項がありますが、次のア～オのうち、当てはまらないものを1つ選び( )内に記号で記入しなさい。(貨物自動車運送事業法施行規則第11条)

- ア. 経営状況に関する事項
- イ. 運賃及び料金の収受又は払戻しに関する事項
- ウ. 運送の引受けに関する事項
- エ. 積み込み及び取卸しに関する事項
- オ. 損害賠償その他責任に関する事項

( ア )

#### 問題4 (運行記録計による記録)

一般貨物自動車運送事業者は、全ての事業用自動車に係る運転者の乗務について、当該事業用自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を1年間保存しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第9条)

(正) 一 車両総重量が七トン以上又は最大積載量が四トン以上の普通自動車である事業用自動車 二 前号の事業用自動車に該当する被けん引自動車をけん引するけん引自動車である事業用自動車 三 前二号に掲げる事業用自動車のほか、特別積合せ貨物運送に係る運行系統に配置する事業用自動車

( × )

#### 問題5 (輸送の安全性の向上)

一般貨物自動車運送事業者は、利益の確保が最も重要であることを自覚し、絶えず輸送の安全性の向上に努めなければならない。(貨物自動車運送事業法第13条)

(正) 輸送の安全の確保

( × )

#### 問題6 (事故の報告)

一般貨物自動車運送事業者は、その事業用自動車に事故を起こしたときは、たとえ軽微な事故であっても遅滞なく国土交通大臣に届け出なければならない。(貨物自動車運送事業法第23条)

(正) 転覆し、火災を起こし、その他国土交通省令で定める重大な事故を引き起こしたとき

( × )

#### 問題7 (運行管理者の業務)

運行管理者は、運転者に対して、点呼を行い、報告を求め、確認を行い、及び指示を与え、並びに記録し、及びその記録を保存し、並びにアルコール検知器を常時有効に保持しなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第20条第1項)

( ○ )

問題 8 (有償運送)

自家用自動車は、無償で運送の用に供してはならない。ただし、災害のため緊急を要するとき、又は公共の福祉を確保するためやむを得ない場合であって国土交通大臣の許可を受けて地域又は期間を限定して運送の用に供するときは、この限りでない。

(道路運送法第 78 条)

(正) 有償で

( × )

問題 9 (名義の利用等の禁止)

一般貨物自動車運送事業者は、事業の貸渡しその他いかなる方法をもってするかを問わず一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を他人にその名において経営させてはならない。(貨物自動車運送事業法第 28 条第 2 項)

( ○ )

問題 10 (運行管理者の指導及び監督)

運行管理者は、業務の適確な処理及び運行管理規程の遵守について、一般貨物自動車運送事業者に対する適切な指導及び監督を行わなければならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第 22 条)

(正) 事業者、運行管理者

( × )

問題 11 (定義)

貨物自動車運送事業法において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送事業を営む者が他の貨物自動車運送事業を営む者の行う運送を利用してする貨物の運送をいう。(貨物自動車運送事業法第 2 条第 7 項)

(正) 他の一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営む者の行う運送

( × )

問題 12 (輸送の安全)

一般貨物自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が休憩又は睡眠のために利用することができる施設を整備及び管理しなければならない。(貨物自動車運送事業法

第15条第1項)

( ○ )

問題13 (運賃及び料金の届出)

一般貨物自動車運送事業者は、運賃及び料金を定め、又は変更しようとするときは、国土交通大臣の認可を受けなければならない。(貨物自動車運送事業報告規則第2条の2)

(正) 変更したときは、届出書を地方運輸局長に提出しなければならない

( × )

問題14 (運送約款)

一般貨物自動車運送事業者は運送約款を定め、認可を受けなければならない。但し、一般貨物自動車運送事業者が、国土交通大臣が定めて公示した標準運送約款と同一の運送約款を定め、又は現に定めている運送約款を標準運送約款と同一のものに変更したときは、認可を受けたものとみなす。(貨物自動車運送事業法第10条第1項、第3項)

( ○ )

問題15 (自動車検査証の有効期間)

車両総重量8トンを超える貨物事業用自動車の自動車検査証の有効期間は2年である。(道路運送車両法第61条第2項)

(正) 1年

( × )

問題16 (労働条件の明示)

使用者は、労働契約の締結に際し、労働者に対して賃金、労働時間その他の労働条件を明示しなければならない。この場合において、賃金及び労働時間に関する事項その他の厚生労働省令で定める事項については、厚生労働省令で定める方法により明示しなければならない。(労働基準法第15条第1項)

( ○ )

問題17 (運行管理者等の義務)

一般貨物自動車運送事業者は、運行管理者がその業務として行う助言を尊重しなければならない。事業者がその業務として運行管理者がその業務として

行う指導に従わなければならない。(貨物自動車運送事業法第20条第3項)

( ○ )

問題18 (届出)

次の届出のうち誤っているものはどれか。(貨物自動車運送事業法施行規則第44条第1項、貨物自動車運送事業報告規則第2条の2)

ア. 一般貨物自動車運送事業者たる法人であって、役員を変更しようとするときは、あらかじめ国土交通大臣等に届出なければならない。

イ. 一般貨物自動車運送事業者は、運賃及び料金の設定をしたときは、設定後30日以内に国土交通大臣等に届出なければならない。

ウ. 貨物自動車運送事業の運輸を開始した場合は、国土交通大臣等に届出なければならない。

ア. 役員 (又は社員) に変更があった場合

( ア )

問題19 (私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律)

「自己の取引上の地位が相手方に優越していることを利用して、正常な商慣習に照らして不当に、取引の相手方からの取引に係る商品の受領を拒み、取引の相手方から取引に係る商品を受領した後当該商品を当該取引の相手方に引き取らせ、取引の相手方に対して取引の対価の支払を遅らせ、若しくはその額を減じ、その他取引の相手方に不利益となるように取引の条件を設定し、若しくは変更し、又は取引を実施すること。」は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律における「不公正な取引方法」にあたる。(私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律第2条第9項)

( ○ )

問題20 (事業改善の命令)

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業の適正かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときは、事業者に対し、貨物の運送に関し生じた損害を賠償するために必要な金額を担保することができる保険契約を締結することを命ずることができる。(貨物自動車運送事業法第27条)

( ○ )

## II. 次の問題 2 1 から 2 4 の文章の指示に従って、質問に答えなさい。

### 問題 2 1 (運賃及び料金等の掲示)

次の中で、一般貨物自動車運送事業者が主たる事務所その他の営業所において、公衆に見やすいように掲示しなければならないと法で定められているものを一つ選び記入しなさい。(貨物自動車運送事業法第 1 1 条)

- ア. 貨物自動車運送事業経営許可書
- イ. 運行管理者資格者証
- ウ. 運送約款

( **ウ** )

### 問題 2 2 (従業員に対する指導及び監督)

一般貨物自動車運送事業者は、運転者ごとに、国土交通大臣が告示で定めるところにより、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣が告示で定める適性診断であって、国土交通大臣の認定を受けたものを受けさせなければならないことになっているが、対象となる運転者として正しいものには○を、誤っているものには×をつけなさい。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第 1 0 条第 2 項)

- ア. 死者又は負傷者が生じた事故を引き起こした者
- イ. 事務員として新たに雇い入れた者
- ウ. 6 0 才以上の高齢者
- ア. ○ イ. 運転手として ウ. 6 5 才以上

ア ( **○** ) イ ( **×** ) ウ ( **×** )

### 問題 2 3 (過労運転の防止)

一般貨物自動車運送事業者は二月を超える期間を定めて使用する者を事業用自動車の運転者として選任してはならない。(貨物自動車運送事業輸送安全規則第 3 条第 2 項)

(正) 二月以内の期間を定めて使用される者

( **×** )

### 問題 2 4 (貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間に

については、労働省告示（平成元年2月9日労働省告示第7号）によって定められています。（ ）内に入る正しいものを①～⑥から選び記入しなさい。（自動車運転者の労働時間等の改善のための基準第4条第1項）

- ア. 運転時間は、2日を平均し1日当たり9時間、2週間を平均し1週間当たり（ ④ ）を超えないものとする。
- イ. 連続運転時間は、（ ⑤ ）を超えないものとする。
- ウ. 拘束時間は、1箇月について（ ① ）を超えないものとする。
- エ. 1日についての拘束時間は、13時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は（ ⑥ ）とする。
- オ. 勤務終了後、継続（ ③ ）以上の休息期間を与えるよう努める。

① 284時間   ② 48時間   ③ 11時間   ④ 44時間   ⑤ 4時間   ⑥ 15時間

貨物自動車運送事業法令試験実施結果  
(令和8年5月)

中部運輸局

令和8年5月21日

	受験者数	合格者数	合格率
中部運輸局	118	108	91.5%